

特活塾通信Ⅱ

特別活動研究会 会長 鷲田 裕
松陽小学校 校長
羽束師小学校 教頭 内野 英教

令和5年2月8日(水)第2回特活塾が開催されました。

アイスブレイク「アドジャン」 神川小学校 村中先生



アドジャントークもありますよ！

- ① アドジャン(グー0、指1本～指5本)までの6種類で「アドジャン」のかけ声とともに出すジャンケンをし、全員の出した数を合計する。
- ② 出た合計数の欄に記載してある「お題」で一人ずつ順に話をする。
- ③ 全員が話し終わったらまたアドジャンをし、お題を変えて話を続ける。



グー0、指1本～指5本までの6種類で「アドジャン」のかけ声とともに出すジャンケンをして、全員が同じ数を出せるようにします。同じ数は1回しか出せないから…2回目、3回目には全員がそろそろチャンスが生まれます！！

模擬授業(4年生)

「6年生に最高のおくり物をしよう」 鏡山小学校 永田先生

(ウ 学校における多様な集団の生活の向上)

はなしあうこと

感謝が伝わるにはどんなものがよいか

※1人1つではなくて、6年生全体に贈るもの

だしあう

花たば

メダル

賞状

絵

司会グループで、まずは入念な打ち合わせです。

絵をかきたいという友だちがいるからメダルの横に入れたらいい。

くらべあう

顔を出して、メダルをかけているような感じにしたい。

手紙もいろいろと、よせ書きなら一言二言で伝わる。


まとめる

授業者 永田先生
司会 文元先生
副司会 長野先生
黒板書記 加藤先生・山中先生
ノート記録 今回はなし
児童役 参加された先生方

適宜、授業者が助言をします。会が流れるように司会グループにこっそり伝えることもあります。

黒板書記がきまった内容を伝えます。絵にかくことで、より分かりやすく伝わりました。

・金メダル
・花たば
・よせ書き



決まったこと

	まとめる	くらべあう	だしあう
・絵	●		
・メダル	●●		
・しよう状		●●	
・よせ書き	●	●	
・手紙	●	●	
・花たば	●	●	
			● ●
			い め け あ ん て

「感謝が伝わるにはどんなものがよいか」

はなしあうこと①

議題
第2回 学級会
6年生に最高のおくり物をしよう。

【司会グループを経験した先生方からの感想】

少数意見のフォローが大切だと思いました。
学級経営が大事だと感じました。
シンプルに書きまとめる技能が上がった気がします。
(何を書いたらいいのか)とても迷います。赤丸と青丸を貼るだけで難しいです。子どもがやるときには、細かくやり方を説明してあげないとできないと思いました。

【児童役として参加して下さった先生方からの感想】

自分が出した絵のことについて他の人がふれてくれてよかった。(安心した。)
この意見いつの間にかなくなっちゃったんだと思った。
意見が引き出しにくい子の考えをどう引き出すのかが大事だと思った。

【参加して下さった方からの感想】

自分が児童役として参加することで、学級活動の見え方がガラッと変わったように思います。1番勉強になったことは「かき役」が絵を描くということです。児童一人一人のイメージは違うけれど、絵があるとイメージを一つにでき、具体的に発言ができると感じました。

模擬授業では、子どもの気持ちになって受けることができました。先生の、意見を変えた子どもや意見が通らなかった子どもへの声かけの大切さを、実際に子ども役として受けたことで感じることができました。
自分の学級でも今回のような学級会を実践してみようと思います。ありがとうございました。



PDF や、アイスブレーキング等の、おみやげもたくさんいただけて「すぐ実践してみたい。」という意欲に繋がったとともに、週に1度の学級活動の時間や、学級会の時間を大切にできていなかったという反省の気持ちでいっぱいになりました。今日教えていただいたことをもとに、明日からの学級活動に活かしていきたいと思います。